

# 令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区名	天王寺区
学校名	大阪市立真田山小学校
学校長名	大澤 啓司

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に关心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

## 1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 調査内容

### (1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

### (2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

## 3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・真田山小学校では、第6学年 176名

## 令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

平均正答率では、全国平均と比べて、算数では5ポイント上回り、国語、理科でもそれぞれ0.2ポイント、0.9ポイント上回っている。内容別の正答率を見ると、国語では全国平均と比べて大きく変わらないものが多いが、「我が国の言語文化に関する事項」では、5.8ポイント、「読むこと」に関しては3.1ポイント上回っている。一方、「書くこと」に関しては、3.7ポイント下回っている。算数では、全領域とも全国平均を上回っており、特に「数と計算」「変化の関係」では、5ポイント以上上回っている。理科については、全領域で、全国平均と同等もしくは、少し上回っている。無回答率については、どの教科とも、全国平均、大阪市平均よりも少ない値となっている。

## 分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】問題別に見ると、「時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を捉える」「文章全体の構成を捉えて要旨を把握する」などについての問題は、全国・大阪市平均と比して5ポイント前後上回っており、「読むこと」においては、基礎的・基本的な力がついていると思われる。一方、「文章の構成を考える」「自分の考えが伝わるように工夫する」など「書くこと」に関しての問題は、全国・大阪市平均と比して5ポイント前後下回っており、課題が見られた。概ね学年相当の漢字も身についているが、同音異義語に関しては、全国・大阪市平均と比して正答率が低かった。

【算数】概ねどの問題においても、全国・大阪市平均を上回っており、特に「表や資料から条件にあった項目を選んだり、必要な情報を選び数量関係を式に表し、計算する」問題においては、全国・大阪市平均と比して8ポイント以上、上回っている。

【理科】問題別では、「へちまの花の受粉」「赤玉土の粒の大きさによる水のしみこみ方のちがい」に関する問題で全国・大阪市平均を大きく上回っている。一方で「電磁石の強さ」に関する問題では、全国平均を9ポイント下回っている。

質問調査より

「自分にはよいところがあると思う」については、肯定的な回答は全国・大阪市平均とほぼ同じであるが、最も肯定的な回答は、全国・大阪市平均よりも上回っている。「学校の授業時間以外の勉強時間」については、平日2時間以上、休日3時間以上と回答した割合は、全国・大阪市平均とも大きく上回っており、学習塾に通っている児童が多いことが影響していると思われる。読書については、「読書が好き」に対して、肯定的に回答する割合が多く、家庭にある本の冊数についても全国・大阪市平均と比べても多い。一方、「学級の友達と話し合う活動を通して自分の考えを深める」「自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表する」の項目に対して肯定的な回答は、全国・大阪市平均を下回っており、課題が残る。

## 今後の取組(アクションプラン)

教科に関する調査より、基礎的・基本的な力はついていると思われる。しかし、対話などを通して、自分の考えを深めたり、自分の考えがうまく伝わるように工夫して発表するということには課題がある。今後も主体的で対話的で深い学びができるように、ペア学習やグループ学習を取り入れながら、共に学びを深めていくことができる児童の育成を図っていく。発表する際にプレゼンテーションを作成することに関しては、肯定的に回答する児童も多いため、今後も学習者用端末を活用し、資料や文章の組み立てを工夫して発表する機会を増やしていく。今年度より、望ましい行動を肯定的に評価する「ポジティブ行動支援」に学校全体で取り組んでいく。同時に外部人材を活用し「ひと・もの・こと」に出会う機会を増やし体験的な学習を取り入れ、自己肯定感が高められ、将来の夢や目標が持てるような児童の育成に取り組んでいく。

## 【 全体の概要 】

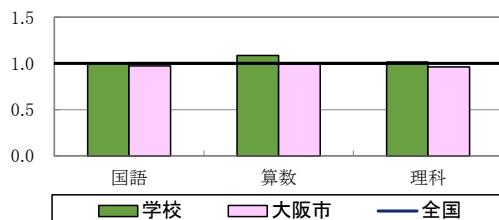
### 平均正答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	67	63	58
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1

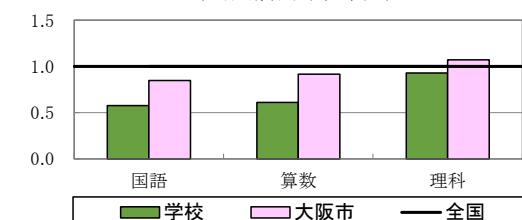
### 平均無解答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	1.9	2.2	2.6
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



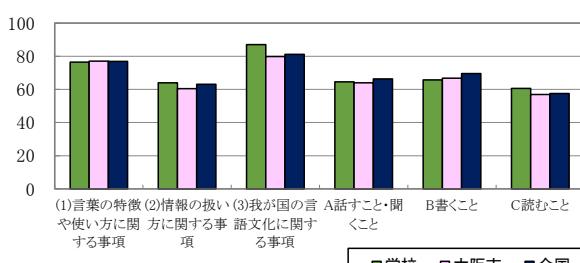
## 【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	2	76.4	77.1	76.9
(2)情報の扱い方に関する事項	1	64.0	60.4	63.1
(3)我が国の言語文化に関する事項	1	87.0	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	64.6	64.0	66.3
B 書くこと	3	65.8	66.7	69.5
C 読むこと	4	60.6	56.9	57.5

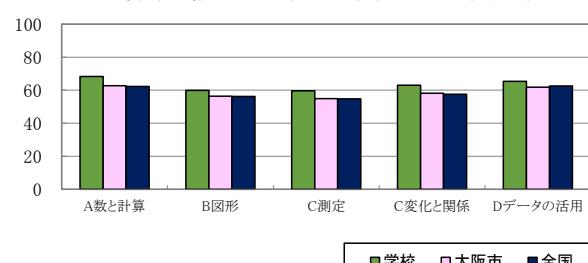
## 【 算 数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	68.3	62.7	62.3
B 図形	4	59.9	56.4	56.2
C 測定	2	59.6	54.9	54.8
C 変化と関係	3	63.0	58.2	57.5
D データの活用	5	65.4	61.9	62.6

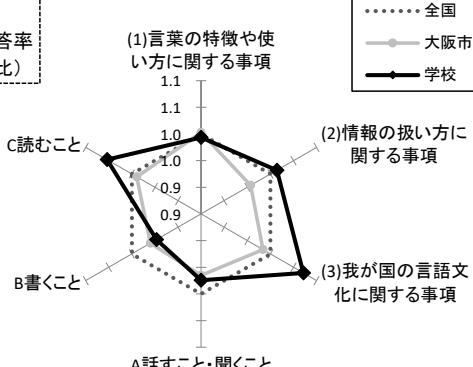
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



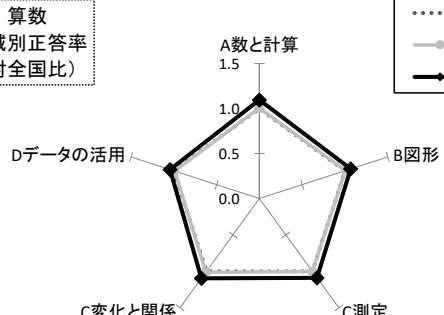
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語  
内容別正答率  
(対全国比)

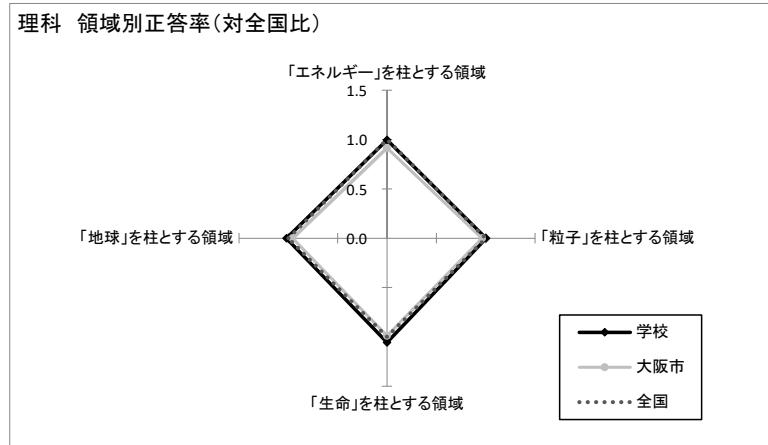
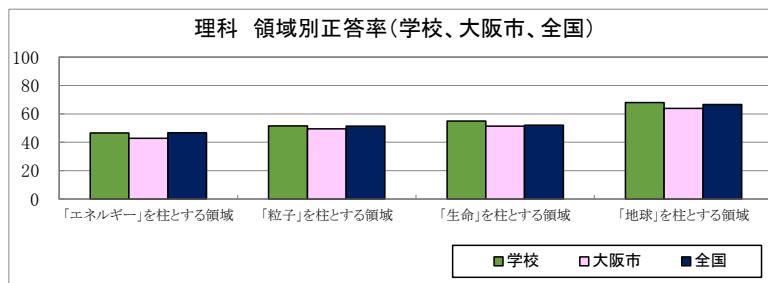


算数  
領域別正答率  
(対全国比)



## 【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 区分	「エネルギー」を 柱とする領域	4	46.5	42.7
	「粒子」を 柱とする領域	6	51.6	49.5
B 区分	「生命」を 柱とする領域	4	54.9	51.4
	「地球」を 柱とする領域	6	68.0	63.8



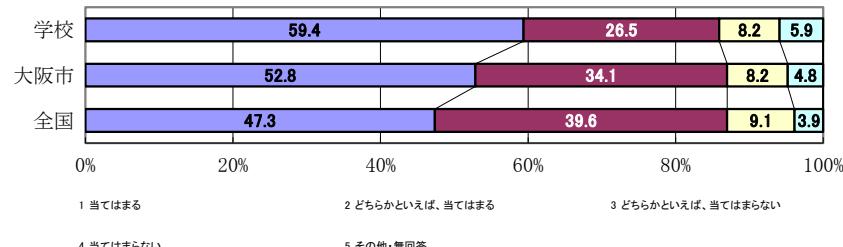
## 児童質問より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

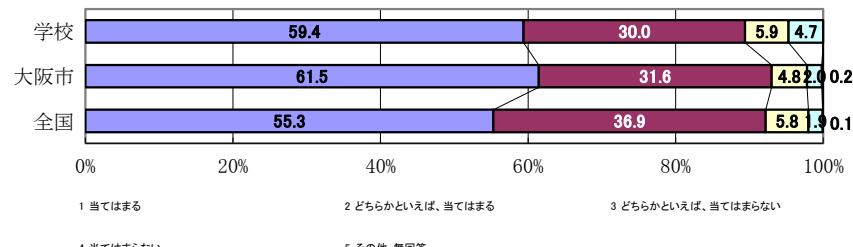
5

自分には、よいところがあると思いますか



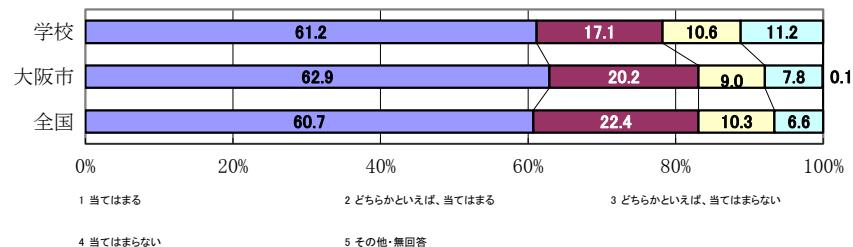
6

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



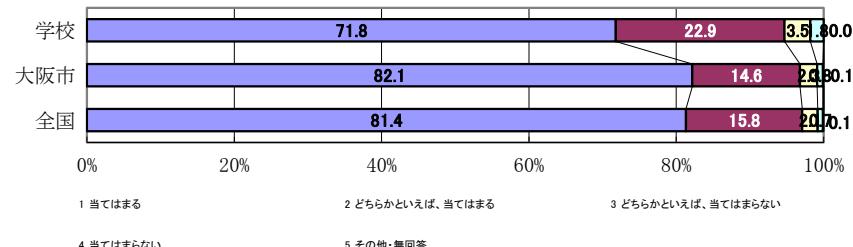
7

将来の夢や目標を持っていますか



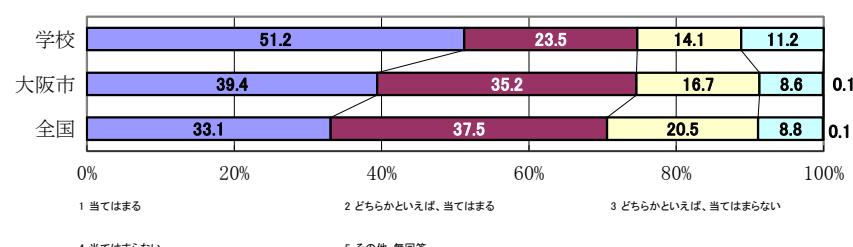
9

いじめは、どんな理由があつてもいけないことだと思いますか



10

困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人についても相談できますか



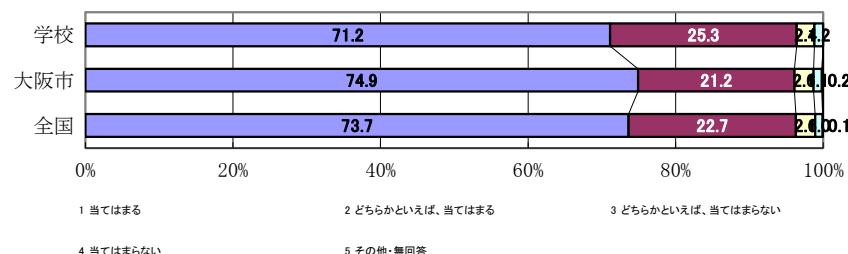
## 児童質問より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

11

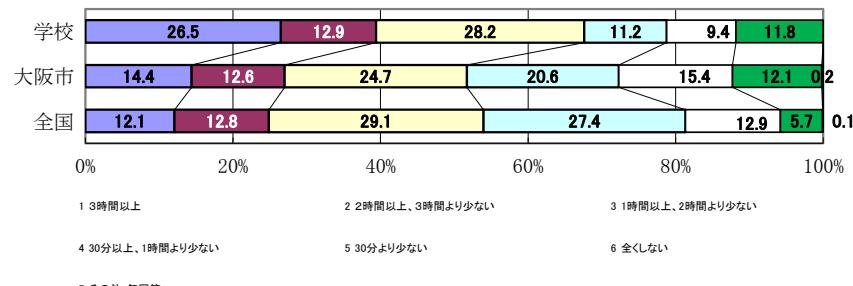
人の役に立つ人間になりたい  
と思いますか



1 当てはまる  
2 どちらかといえば、当てはまる  
3 どちらかといえば、当てはまらない  
4 当てはまらない  
5 その他・無回答

17

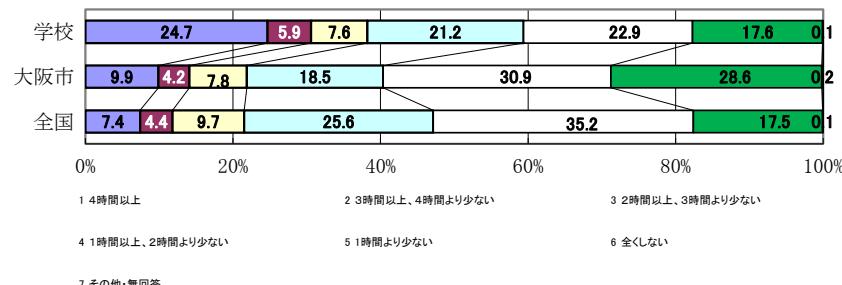
学校の授業時間以外に、普段  
(月曜日から金曜日)、1日当  
たりどれくらいの時間、勉強を  
しますか(学習塾で勉強してい  
る時間や家庭教師の先生に  
教わっている時間、インターネット  
を活用して学ぶ時間も含  
む)



1 3時間以上  
2 2時間以上、3時間より少ない  
3 1時間以上、2時間より少ない  
4 30分以上、1時間より少ない  
5 30分より少ない  
6 全くしない  
7 その他・無回答

19

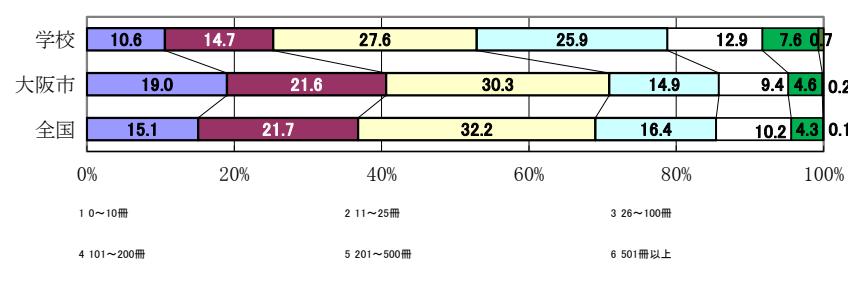
土曜日や日曜日など学校が  
休みの日に、1日当たりどれく  
らいの時間、勉強をしますか  
(学習塾で勉強している時間  
や家庭教師の先生に教わって  
いる時間、インターネットを活  
用して学ぶ時間も含む)



1 4時間以上  
2 3時間以上、4時間より少ない  
3 2時間以上、3時間より少ない  
4 1時間以上、2時間より少ない  
5 1時間より少ない  
6 全くしない  
7 その他・無回答

22

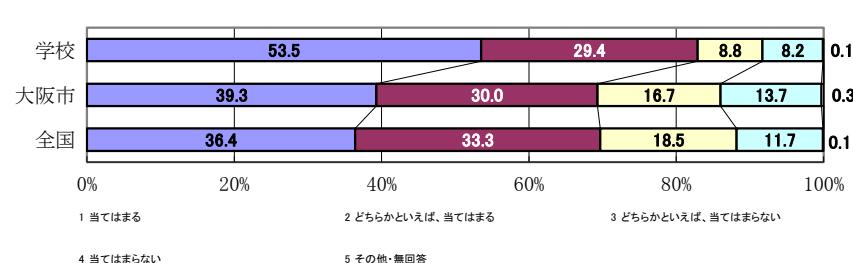
あなたの家には、およそどれく  
らいの本がありますか(雑誌、  
新聞、教科書は除く)



1 0~10冊  
2 11~25冊  
3 26~100冊  
4 101~500冊  
5 501冊以上  
7 その他・無回答

24

読書は好きですか



1 当てはまる  
2 どちらかといえば、当てはまる  
3 どちらかといえば、当てはまらない  
4 当てはまらない  
5 その他・無回答

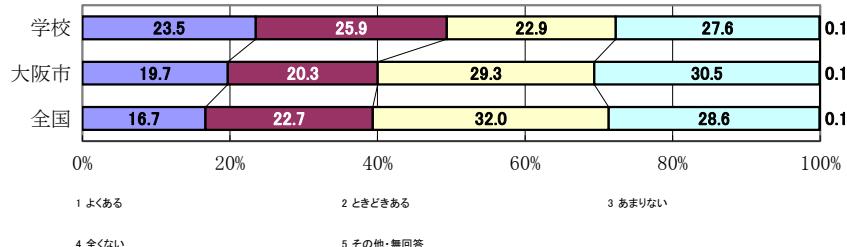
## 児童質問より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

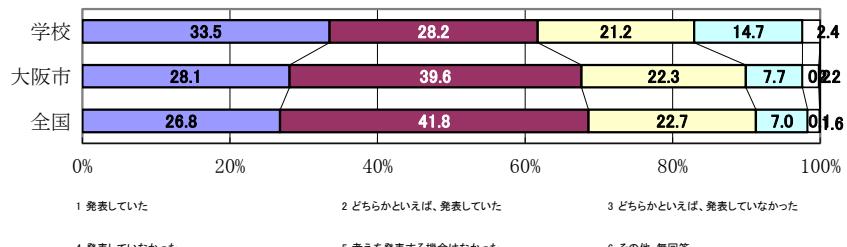
**26**

地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがありますか(習い事は除く)



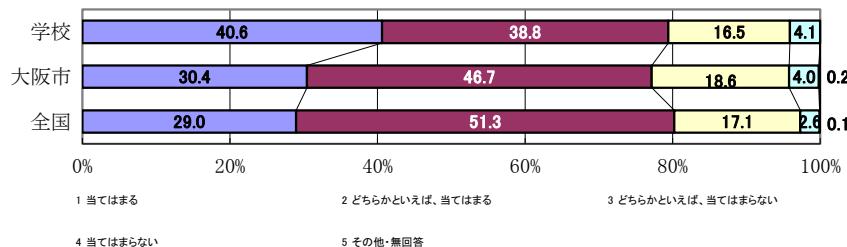
**31**

5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか



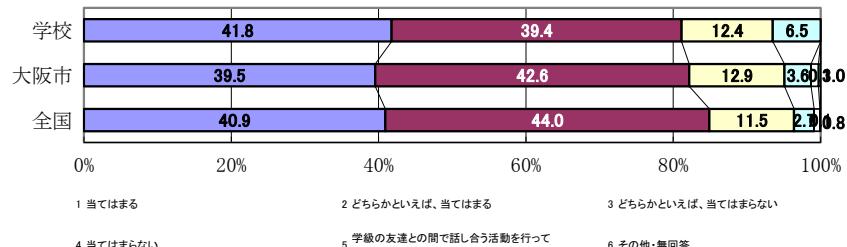
**32**

5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



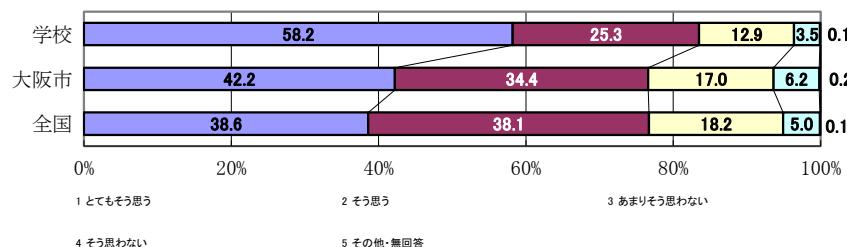
**35**

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方方に気付いたりすることができますか



**75**

あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション(発表のスライド)を作成することができますか



## 学校質問より

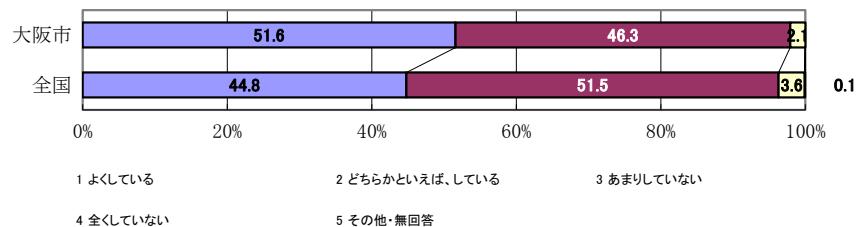
■ 1 ■ 2 □ 3 □ 4 □ 5 ■ 6 ■ 7 ■ 8 ■ 9 ■ 10

質問番号
質問事項

17

言語活動について、国語科を要としつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいますか

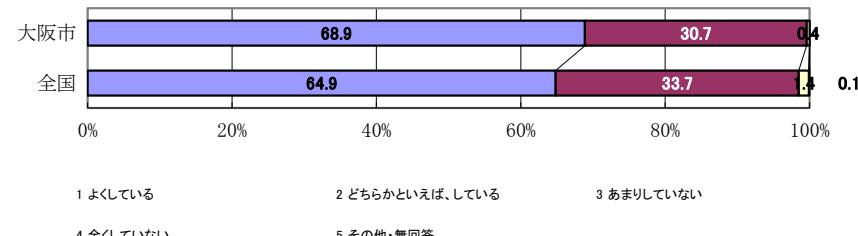
学校 「どちらかといえば、している」を選択



18

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

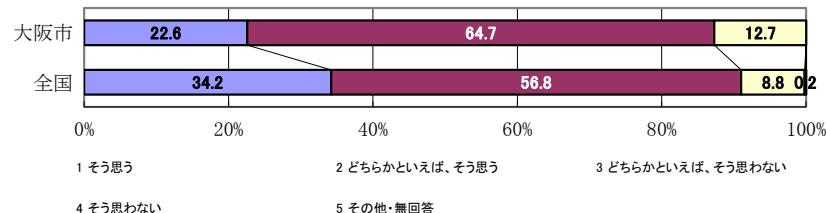
学校 「よくしている」を選択



22

今までの取組をそのまま踏襲するのではなく、新しい取組を導入したり、提案をしたりしていく教職員が多いと思いますか

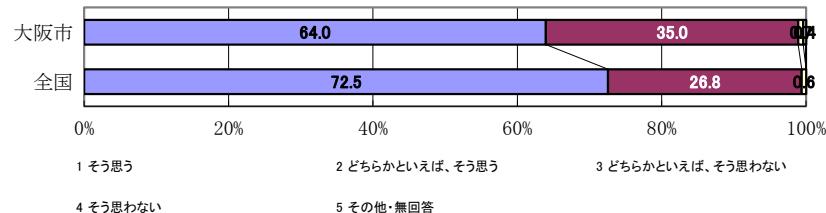
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



23

教職員が困っているとき、管理職と教職員との間で随時相談できるなど組織的に対応する体制を構築していると思いますか

学校 「そう思う」を選択



27

調査対象学年の児童は、学級やグループでの話合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか

学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択

